

第 2 回主会場選定専門委員会の審議結果について

標記専門委員会の第 2 回会議が平成 25 年 12 月 20 日に開催され、その結果は以下のとおりでした。

1. 日 時 平成 25 年 12 月 20 日 (金) 9:30-12:00
2. 場 所 滋賀県大津合同庁舎 7-A 会議室
3. 出席委員 大西 美和、北沢 繁和、小浦 久子、西條 智晴、坂 一郎、
辻井 弘子、中井 敏勝、原 陽一、平林 光彦、松田 保、
山崎 薫、横山 勝彦(委員長)、吉田 政幸(50 音順・敬称略)

4. 議事概要

(1) 説明・報告事項

各候補地の現状(地形・地質、現施設の概要、法規制の状況、立地特性等)について、事務局より説明。

(2) 審議事項

- ①各候補地の施設配置計画(案)について
- ②各施設配置計画(案)に対する課題について
- ③各施設配置計画(案)に対する概算事業費について
- ④比較項目(案)について

以下の資料により事務局から説明、課題のうち候補地の地元市町に対し確認が必要な事項については各市町長あて照会を行うこと、次回「比較項目(案)」に即し、候補地毎の評価の案案を整理、提示することについて了承を得た。

【資料 1】各候補地の施設配置計画(案)

【資料 2】施設配置計画(案)に対する課題と整備スケジュール(案)

【資料 3】各施設配置計画(案)に対する概算事業費(中間報告)

【資料 4】比較項目(案)

5. 主な意見

裏面のとおり

第2回主会場選定専門委員会審議事項 主な意見

【各候補地の配置計画・課題について】

- 彦根総合運動場について、彦根市の現行の風致や景観の規制を変えることは、世界遺産登録を目指すうえでおそらく問題になる。本気で登録を目指すなら、慎重に検討されたほうがよい。
- 許容建築面積率等の超過に対する対処方針に、建築面積の縮小が挙がっているが、仮にJリーグ開催を念頭に置く場合、最初から2万人規模の施設を造らないと、後から対応は難しいのではないか。
- 希望が丘文化公園について、現在の競技場と同じ高さで整備するとなると、中央道との高低差があるため、現在の希望が丘の風景の中に、かなり圧迫感のある建物ができることになる。
- びわこ文化公園都市について、造成工事のスケジュールは地盤が安定するまでの時間も想定する必要があるのではないか。また同様に、環境アセスメントや保安林解除、文化財調査など、一般的に順調にいくとは考えにくく、かなりタイトなスケジュールであるとの感を受ける。
- 大津市皇子山総合運動公園については、敷地面積の拡張の可能性や、現多目的広場の扱い、課題をふまえた配置計画の見直し等も含め、大津市に確認が必要。

【概算事業費・比較項目（案）について】

- 候補地のある市町が、主会場を地元のまちづくりにどのように活かすことができるか、といった側面からの比較も必要。
- 競技場があるだけの施設ではいけない。市民がスポーツ以外にも楽しめる施設、生活の中に密着した施設を目指したオプションの価値をどれだけ付加できるかといった側面も、比較項目として重要。
- 主競技場スタンド下の備蓄倉庫については、滋賀県では既に民間物流倉庫と協定し県内7か所に拠点を設け確保しており、必要性も含め検証が必要。

主会場選定専門委員会 委員

(順不同:敬称略)

選 出 区 分	機 関 ・ 団 体 名 お よ び 役 職 名	氏 名
ス ポ ー ツ 関 係	公益財団法人滋賀県体育協会 (公益社団法人滋賀県サッカー協会会長) 理事	松田 保
	公益財団法人滋賀県体育協会 (滋賀県スポーツ少年団指導者協議会代表委員) 理事	大西 美和
	一般財団法人滋賀陸上競技協会 専務理事	坂 一郎
	滋賀県レクリエーション協会 生涯スポーツ 推進部長	西條 智晴
	滋賀県障害者スポーツ協会 理事	原 陽一
学 校 関 係	県立長浜北星高等学校 校長	清川 佳子
産 業 ・ 経 済 関 係	公益社団法人びわこビジターズビュー ロー 専務理事	北沢 繁和
学 識 経 験 者	大阪大学大学院工学研究科 准教授	小浦 久子
	人と防災未来センター 研究主幹	宇田川 真之
	びわこ成蹊スポーツ大学 競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース 准教授	吉田 政幸
	同志社大学スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学研究科 教授	横山 勝彦
県 関 係	防災危機管理局 副局長	辻井 弘子
	商工観光労働部観光交流局 副局長	山崎 薫
	土木交通部都市計画課 課長	平林 光彦
	教育委員会事務局スポーツ健康課 課長	中井 敏勝

主会場選定専門委員会 全体の議論の流れ

